

元気で躍進 地域経済

くい、残して悔い残さず

土地家屋調査士会
松阪支部 登記推進訴え、初の街頭啓発



駅前啓発物品を配る支部の会員ら＝京町で

三重県土地家屋調査士会松阪支部(濱田眞行支部長、38人)は26日午前7時半から、松阪市京町のJR松阪駅周辺で土地建物登記推進を目的とした啓発活動を行った。
同支部としては初の取り組みで、5人が参加し、啓発標語が入った物品を通行人に配布した。
この取り組みは、土地境界標の順守と土地建物の登記推進を目的としたもの。松阪支部としては初めての試みで、のぼり旗などの啓発物品も新調し、街頭活動に臨んだ。
30日に同調査士会と法務省津地方法務局が津市で開催する「第7回全国

は、隣地トラブル解消のためにも敷地の境を示す「境界くい」の普及を呼び掛ける「杭(くい)を残して悔い残さず」というポケットティッシュの標語に目を落とす姿も見られた。
同支部は国家資格である土地家屋調査士の集まりで松阪市と多気郡をエリアにする。土地家屋調査士は新築建物の登記や土地の分筆などの行政手続き代行業務を仕事にしている。
濱田支部長(59)は「東日本大震災の時には境界

巡視船で親子44人航海

松阪
法人会 探検隊で税の仕組み教える

公益社団法人松阪法人会(会長 岩間弘樹)は銀行頭取、1753人による夏休み親子イベント「行ってみようぜい(税) 税探検隊」が25日、四日市市の四日市海上保安庁などであり、親子44人が参加した。税の仕組みについての学習に加え、同庁の巡視船「あおたき」で伊勢湾を巡る体験航海もあった。
この日は、松阪市や多気郡から親子22組が参加。午前8時に市内を出発し、四日市市までの道中や同庁では、消費税



船の航海を体験する親子ら＝伊勢湾で

租税教育活動の一環。国民からの納税で成り立っている公的機関でもある同庁との連携事業は昨年からは始まった。同庁の施設や保安官の仕事を見学しながら、自分たちが納めた税が社会に還元されている仕組みを勉強してもらう。
この日は、松阪市や多気郡から親子22組が参加。午前8時に市内を出発し、四日市市までの道中や同庁では、消費税

が無いことで復元と確認に時間を要したケースがあった。災害からの復興を考へても境界をはっきりさせておくことは大切になってくる」と訴えていた。

東員での県産材催し
宮川森林組合が参加
町が友好提携3031日
宮川森林組合(細淵淳輔代表理事組合長、1633人)と多気郡大台町

は30、31の両日、員弁郡東員町のイオンモール東員で開催される「ミエトイ・キャラバン(東員) (県産材主権)に参加し、町産広葉樹の枝や幹を使用したチップで薫製した加工食品。ヤマザクラ、コナラ、タムシバ、イタヤカエデの4種類がある。数百年という長い見通しを持つて広葉樹を育てる間の、枝や幹の有効活用を目的に開発した。

所得税などを例に納税の仕組みについて学習した。2班に分かれた体験航海では、同庁から中部国際空港セントレア周辺まで約1時間半の船旅を楽しんだ。航海の途中で保安官のサポートを受

けながら子供たちが操舵(そうだ)に挑戦する場面もあった。
松阪市大黒田町の増井奏太君(花岡小5年)は公務員の父・光自さん(41)と参加。増井君は「消費税の話とかが出てきた。船の運転はすごく楽しかった」と興奮気味に語り、光自さんは「自分の仕事も含めて世の中には税で成り立っている部分もたくさんある。(増井君には)5年生になつて社会の仕組みの一つとして学んでほしい」と振り返っていた。

★耳鼻咽喉科のやまなニツク(541276)
★社会福祉法人 鈴の音 軽費老人ホーム泰山荘(333861) 看護師
・准、①午前9時

当日は、6月から町内などで販売を始めたチーズ「森薫(もりくん)」をはじめとした町特産品の販売も行う。チーズは町産広葉樹の枝や幹を使ったチップで薫製した加工食品。ヤマザクラ、コナラ、タムシバ、イタヤカエデの4種類がある。数百年という長い見通しを持つて広葉樹を育てる間の、枝や幹の有効活用を目的に開発した。

イベントは県産材を活用した遊具や木工の体験ができる親子向けの内容。大台町が東員町と友好親善提携を結んでいる縁で、大台町と同組合の参加が決まった。

正社員
★(株)ショーン技研(435561) 省力機構
★(株)大森土木工業(538461) 土木施工
★(株)大森土木工業(538461) 土木施工
★(株)大森土木工業(538461) 土木施工

仕事情報
この内
字は